

2021年12月21日
株式会社日本政策金融公庫

仕入価格が「上昇した」との回答が増加するも 販売価格への転嫁は進まず

価格動向に関するアンケート調査結果
(生活衛生関係営業の景気動向等調査特別調査結果2021年7～9月期)

<仕入価格動向>

- 仕入価格が前年に比べて「上昇した」と回答した企業割合は44.9%と、前年調査を10.1ポイント上回った（2ページ）。
- 仕入価格上昇の経営悪化への影響は、「影響がある」と回答した企業割合が83.9%と、8割超を占めた（4ページ）。
- 仕入価格上昇分の販売価格への転嫁は、「全く転嫁できていない」と回答した企業割合が62.6%と、6割超を占めた（5ページ）。
- 今後1年間の仕入価格の見通しは、「上昇する」と回答した企業割合が50.3%と、半数超を占めた（6ページ）。

<販売価格動向>

- 販売価格を前年に比べ「引き上げた」と回答した企業割合は12.7%と、前年調査を0.6ポイント上回った（7ページ）。
- 今後1年間の販売価格の見通しは、「引き上げる」と回答した企業割合が14.1%と前年調査を6.5ポイント上回った（9ページ）。

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 国民生活事業本部 生活衛生融資部 生活衛生情報支援グループ TEL：03-3270-1653（担当：和知、一ノ瀬）
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

【調査の実施要領】

調査時点	2021年8月下旬～9月上旬			
調査方法	郵送調査			
調査対象	生活衛生関係営業 3,290企業			
有効回答企業数	3,149企業（回答率 95.7%）			
（業種内訳）	飲食業	1,419 企業	映画館	62 企業
	食肉・食鳥肉販売業	156 企業	ホテル・旅館業	184 企業
	冰雪販売業	58 企業	公衆浴場業	113 企業
	理容業	428 企業	クリーニング業	262 企業
	美容業	467 企業		

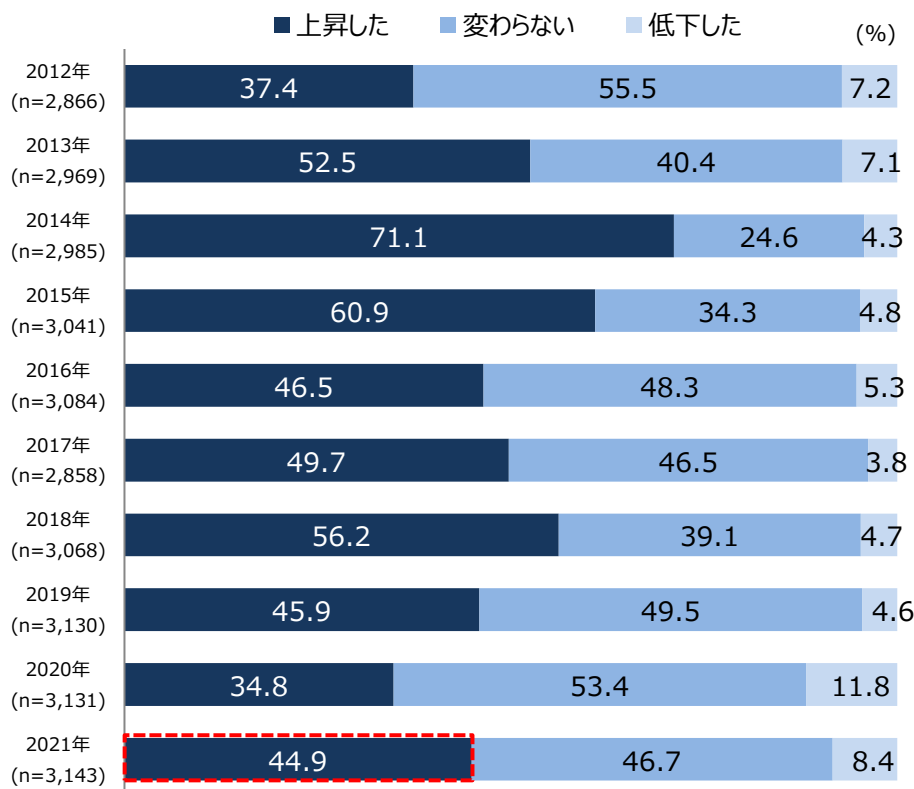
【本調査における留意事項】

- 2016年4～6月期調査から沖縄県の企業を調査対象に加えている。
- 比率の算出にあたっては、無回答を除いたものを母数としている。

1 仕入価格の動向

- 仕入価格が前年に比べて「上昇した」と回答した企業割合は44.9%と、前年調査を10.1ポイント上回った（図表1）。
- 業種別にみると、食肉・食鳥肉販売業が68.6%と最も高く、次いで、クリーニング業（63.7%）、飲食業（58.1%）となっている（図表2）。

図表1 仕入価格の動向



※いずれの期も、前年同期（7～9月期）と比べた仕入価格の動向。

※回答割合は小数第2位を四捨五入して表示しているため、合計が100にならない場合がある（以下同じ）。

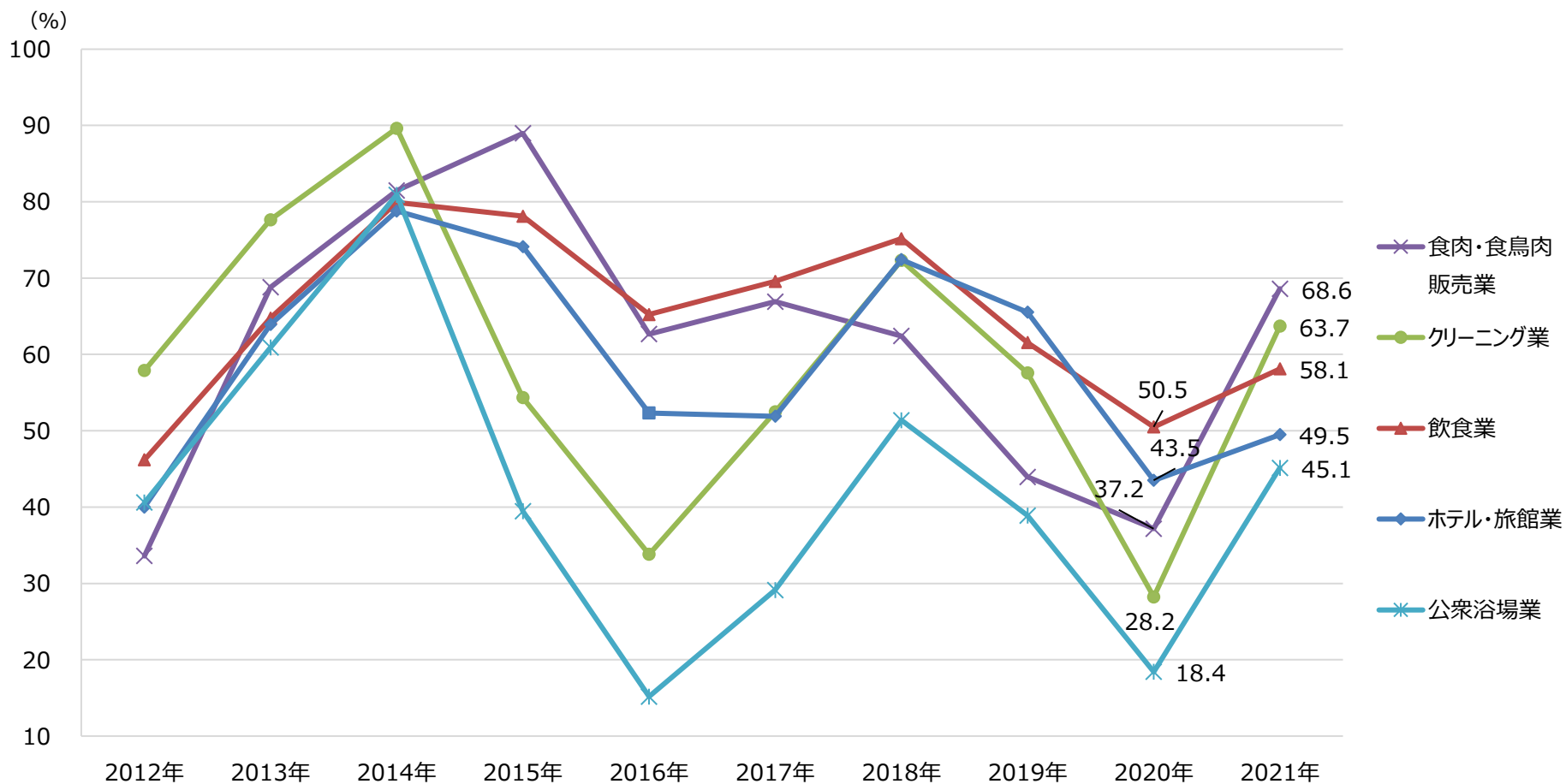
図表2 仕入価格の動向【業種別】

	(%)		
	上昇した	変わらない	低下した
全体 (n=3,143)	44.9	46.7	8.4
飲食業 (n=1,414)	58.1	33.0	9.0
食肉・食鳥肉販売業 (n=156)	68.6	27.6	3.8
冰雪販売業 (n=58)	19.0	72.4	8.6
理容業 (n=428)	15.9	75.0	9.1
美容業 (n=466)	17.8	67.0	15.2
映画館 (n=62)	19.4	80.6	0.0
ホテル・旅館業 (n=184)	49.5	48.9	1.6
公衆浴場業 (n=113)	45.1	52.2	2.7
クリーニング業 (n=262)	63.7	32.4	3.8

※全体より5ポイント以上割合が高い項目を色掛け（青色）で表示（以下同じ）。

<参考> 「上昇した」と回答した企業割合が高い5業種の過去10年間の推移

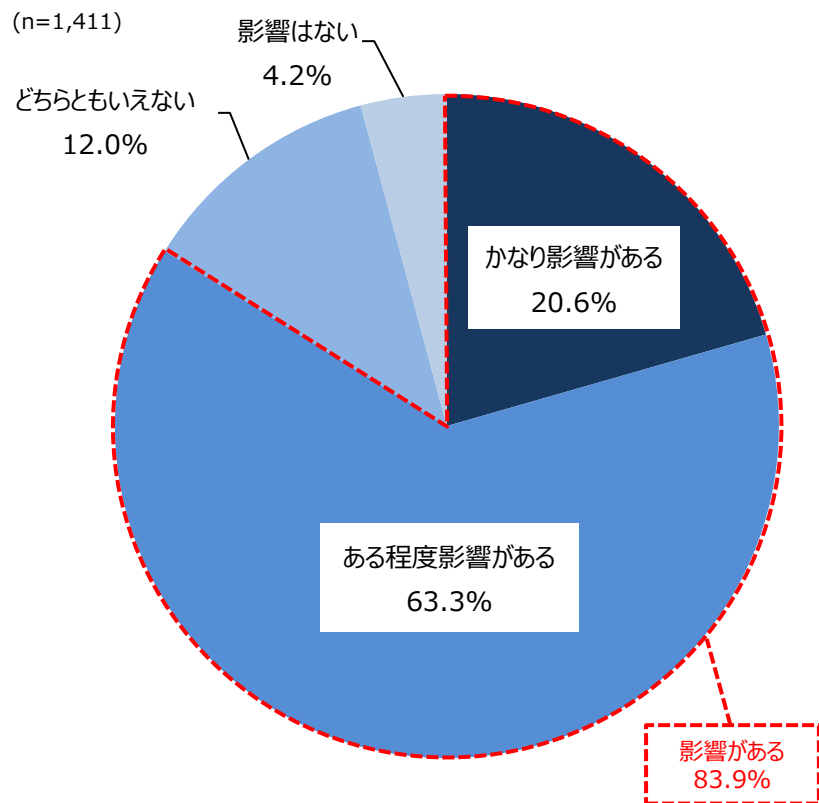
図表3 「上昇した」と回答した企業割合が高い5業種の過去10年間の推移



2 仕入価格上昇の経営悪化への影響

- 仕入価格上昇の経営悪化への影響は、「影響がある」（「かなり影響がある」「ある程度影響がある」の合計）と回答した企業割合が83.9%と、8割超を占めた（図表4）。
- 業種別にみると、食肉・食鳥肉販売業が93.5%と最も高く、次いで、ホテル・旅館業（91.2%）、クリーニング業（85.7%）となっている（図表5）。

図表4 仕入価格上昇の経営悪化への影響



※仕入価格が「上昇した」と回答した企業に尋ねたもの。

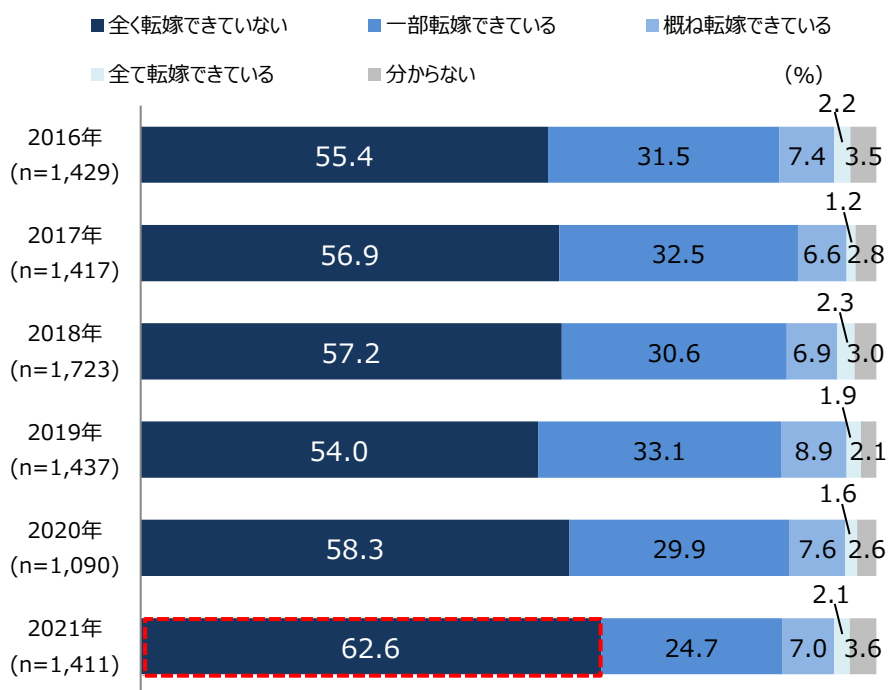
図表5 仕入価格上昇の経営悪化への影響【業種別】

	(%)			
	かなり影響がある	ある程度影響がある	どちらともいえない	影響はない
全体 (n=1,411)	20.6	63.3	12.0	4.2
飲食業 (n=821)	22.2	63.3	11.3	3.2
食肉・食鳥肉販売業 (n=107)	29.9	63.6	3.7	2.8
冰雪販売業 (n=11)	18.2	63.6	18.2	0.0
理容業 (n=68)	5.9	61.8	23.5	8.8
美容業 (n=83)	2.4	53.0	26.5	18.1
映画館 (n=12)	0.0	91.7	8.3	0.0
ホテル・旅館業 (n=91)	19.8	71.4	5.5	3.3
公衆浴場業 (n=51)	21.6	62.7	7.8	7.8
クリーニング業 (n=167)	23.4	62.3	13.2	1.2

3 仕入価格上昇分の販売価格への転嫁

- 仕入価格上昇分の販売価格への転嫁は、「全く転嫁できていない」と回答した企業割合が62.6%で、6割超を占めた（図表6）。
- 業種別にみると、公衆浴場業が78.4%と最も高く、次いで、クリーニング業（73.1%）、ホテル・旅館業（69.2%）となっている（図表7）。

図表6 仕入価格上昇分の販売価格への転嫁



※仕入価格が「上昇した」と回答した企業に尋ねたもの。

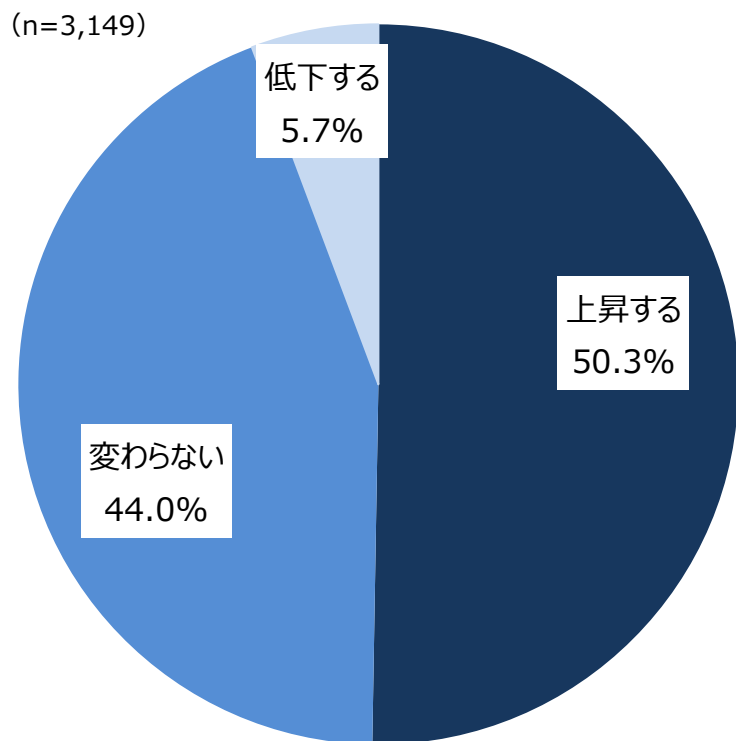
図表7 仕入価格上昇分の販売価格への転嫁【業種別】

	全く転嫁でき	一部転嫁でき	概ね転嫁でき	全て転嫁でき	分からない (%)
全体 (n=1,411)	62.6	24.7	7.0	2.1	3.6
飲食業 (n=821)	66.4	23.3	5.7	1.5	3.2
食肉・食鳥肉販売業 (n=107)	35.5	45.8	13.1	4.7	0.9
冰雪販売業 (n=11)	63.6	18.2	18.2	0.0	0.0
理容業 (n=68)	41.2	27.9	16.2	5.9	8.8
美容業 (n=83)	42.2	30.1	14.5	7.2	6.0
映画館 (n=12)	41.7	50.0	8.3	0.0	0.0
ホテル・旅館業 (n=91)	69.2	17.6	5.5	1.1	6.6
公衆浴場業 (n=51)	78.4	9.8	3.9	2.0	5.9
クリーニング業 (n=167)	73.1	21.0	3.0	0.6	2.4

4 今後1年間の仕入価格の見通し

- 今後1年間の仕入価格の見通しは、「上昇する」と回答した企業割合が50.3%と、半数超を占めた（図表8）。
- 業種別にみると、クリーニング業が69.5%と最も高く、次いで、ホテル・旅館業（67.9%）、飲食業（64.3%）となっている（図表9）。

図表8 今後1年間の仕入価格の見通し



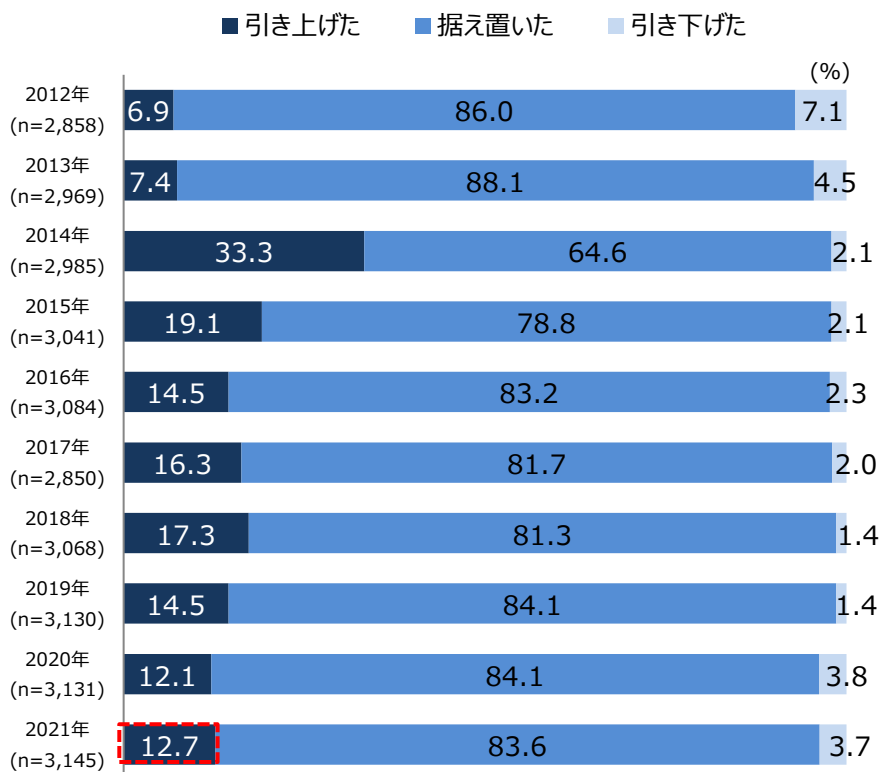
図表9 今後1年間の仕入価格の見通し【業種別】

	(%)		
	上昇する	変わらない	低下する
全体 (n=3,149)	50.3	44.0	5.7
飲食業 (n=1,419)	64.3	30.2	5.5
食肉・食鳥肉販売業 (n=156)	63.5	33.3	3.2
冰雪販売業 (n=58)	31.0	67.2	1.7
理容業 (n=428)	22.0	70.3	7.7
美容業 (n=467)	18.4	70.7	10.9
映画館 (n=62)	24.2	75.8	0.0
ホテル・旅館業 (n=184)	67.9	31.5	0.5
公衆浴場業 (n=113)	46.0	51.3	2.7
クリーニング業 (n=262)	69.5	27.5	3.1

5 販売価格の動向

- 販売価格を前年に比べ「引き上げた」と回答した企業割合は12.7%と、前年調査を0.6ポイント上回った（図表10）。
- 業種別にみると、食肉・食鳥肉販売業が38.5%と最も高く、次いで、映画館（17.7%）、ホテル・旅館業（17.4%）となっている（図表11）。

図表10 販売価格の動向



※いずれの期も、前年同期（7～9月期）と比べた販売価格の動向。

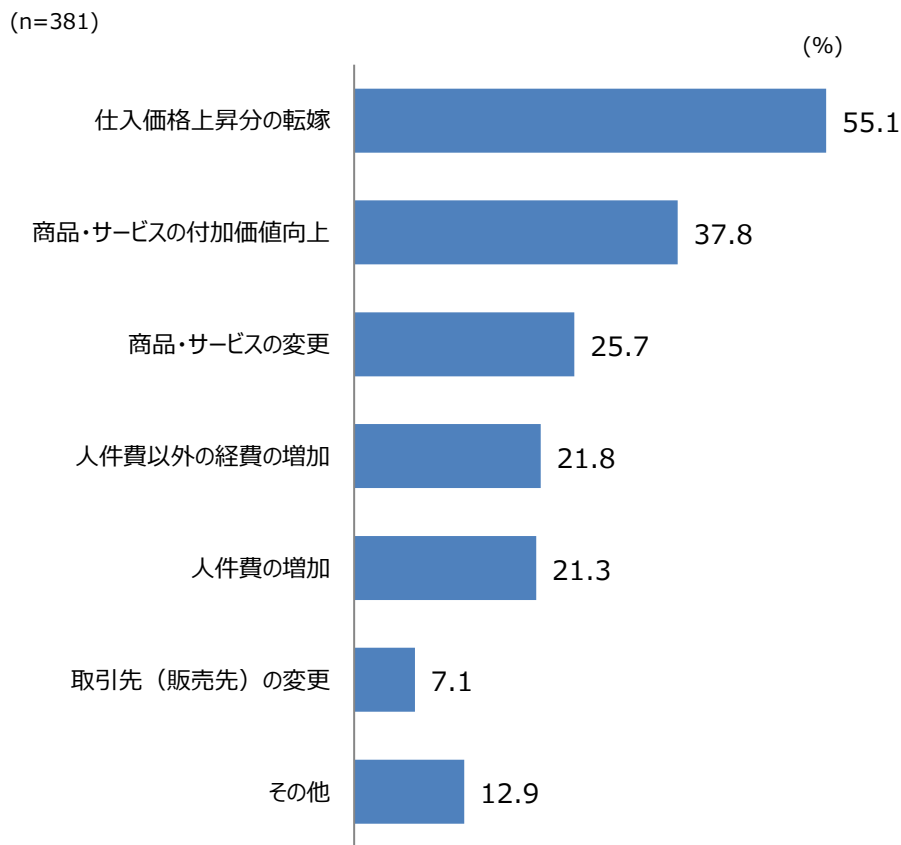
図表11 販売価格の動向【業種別】

	(%)		
	引き上げた	据え置いた	引き下げた
全体 (n=3,145)	12.7	83.6	3.7
飲食業 (n=1,416)	12.9	84.0	3.0
食肉・食鳥肉販売業 (n=156)	38.5	59.6	1.9
冰雪販売業 (n=58)	12.1	86.2	1.7
理容業 (n=428)	4.9	92.1	3.0
美容業 (n=466)	6.9	88.6	4.5
映画館 (n=62)	17.7	80.6	1.6
ホテル・旅館業 (n=184)	17.4	65.2	17.4
公衆浴場業 (n=113)	9.7	90.3	0.0
クリーニング業 (n=262)	15.6	83.2	1.1

6 販売価格引き上げの理由

- 販売価格引き上げの理由は、「仕入価格上昇分の転嫁」と回答した企業割合が55.1%と最も高く、次いで、「商品・サービスの付加価値向上」（37.8%）、「商品・サービスの変更」（25.7%）となった（図表12）。

図表12 販売価格引き上げの理由
【複数回答・2つまで】



※販売価格を「引き上げた」と回答した企業に尋ねたもの。

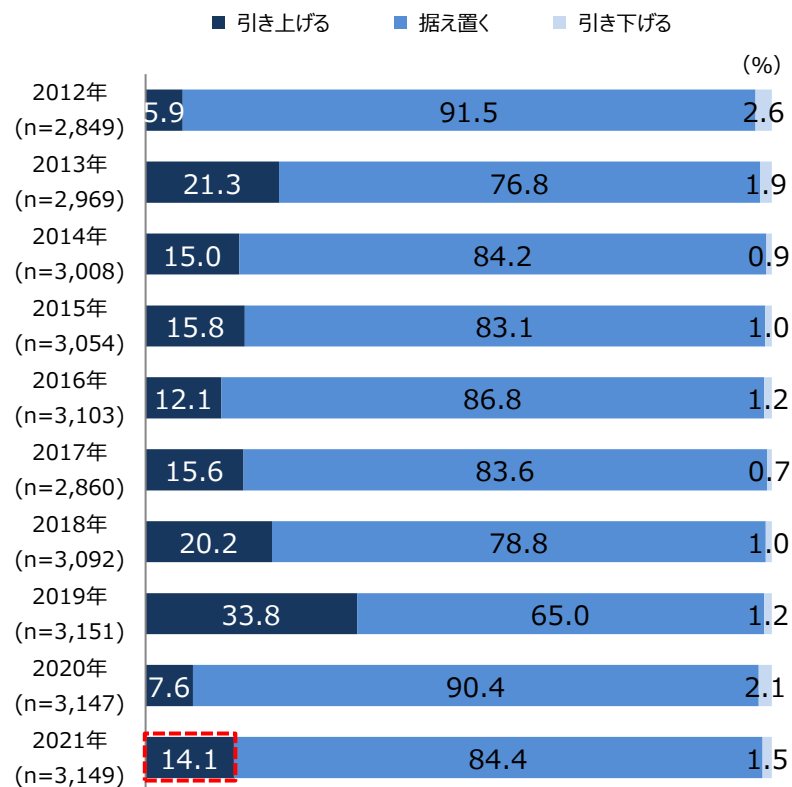
図表13 販売価格引き上げの理由
【業種別、複数回答・2つまで】

	仕入 価格 上昇 分の 転 嫁	付 加 品 価 値 サ ー ビ ス の 上 昇 分 の	変 更 品 ・ サ ー ビ ス の	の 人 件 費 以 外 の 経 費	人 件 費 の 増 加	の 取 引 先 （ 販 売 先 ）	そ の 他
全体 (n=381)	55.1	37.8	25.7	21.8	21.3	7.1	12.9
飲食業 (n=177)	63.3	42.4	29.9	16.9	18.1	9.6	10.7
食肉・食鳥肉販売業 (n=55)	85.5	10.9	7.3	21.8	29.1	1.8	3.6
氷雪販売業 (n=7)	57.1	28.6	42.9	28.6	28.6	14.3	0.0
理容業 (n=20)	30.0	55.0	25.0	15.0	25.0	0.0	10.0
美容業 (n=31)	35.5	61.3	41.9	25.8	16.1	3.2	9.7
映画館 (n=8)	25.0	12.5	12.5	50.0	37.5	0.0	37.5
ホテル・旅館業 (n=32)	40.6	46.9	25.0	31.3	31.3	9.4	12.5
公衆浴場業 (n=11)	27.3	0.0	27.3	27.3	18.2	0.0	45.5
クリーニング業 (n=40)	30.0	37.5	20.0	27.5	15.0	10.0	27.5

7 今後1年間の販売価格の見通し

- 今後1年間の販売価格の見通しは、「引き上げる」と回答した企業割合が14.1%と、前年調査を6.5ポイント上回った（図表14）。
- 業種別にみると、食肉・食鳥肉販売業が38.5%と最も高く、次いで、公衆浴場業（18.6%）、クリーニング業（18.3%）となっている（図表15）。

図表14 今後1年間の販売価格の見通し



図表15 今後1年間の販売価格の見通し【業種別】

	(%)		
	引き上げる	据え置く	引き下げる
全体 (n=3,149)	14.1	84.4	1.5
飲食業 (n=1,419)	15.4	83.4	1.1
食肉・食鳥肉販売業 (n=156)	38.5	60.3	1.3
冰雪販売業 (n=58)	12.1	86.2	1.7
理容業 (n=428)	4.9	94.4	0.7
美容業 (n=467)	6.4	92.3	1.3
映画館 (n=62)	9.7	88.7	1.6
ホテル・旅館業 (n=184)	17.4	75.0	7.6
公衆浴場業 (n=113)	18.6	81.4	0.0
クリーニング業 (n=262)	18.3	80.5	1.1